

---

---

## 2. 吉野川河口域の生物観察データの活用について

---

---

## ■2-1 吉野川河口域の生物観察データの有効活用について

これまでの検討会・環境部会での「吉野川河口域の生物観察データ」の有効活用に関する議論を踏まえ、①～③を進める。

- ①吉野川河口域の生物観察データの一般募集の実施。
- ②環境モニタリングの基礎資料として、有効性の整理。
- ③基礎資料とされる観察データについては、工事前の生物生息・生育環境の現状整理に活用。

### ■検討会・環境部会の意見

#### 第3回検討会（H26.3.25）

- 鳥類調査に関しては、一般の方々による観察の精度が比較的高いものであることから、一般の方々からの観察データも提供して頂いて、一緒にそのデータに基づき議論することも大事と考えられる。

#### 第3回環境部会（H26.5.22）

- 観察データを提供していただくことは、データ収集に関する一般の方々と協働ということが望ましい。この協働の進め方については、環境部会の委員も含めて協議していく方が良い。



### ■一般の方々の生物観測データの有効活用に関する方針（案）

先行事例や今後実施する環境モニタリング調査の結果に加え、これまで一般の方々が生物の生息・生育状況を観察したデータを環境モニタリング調査の基礎資料（本検討会の目的の範囲に限る）として活用していく。

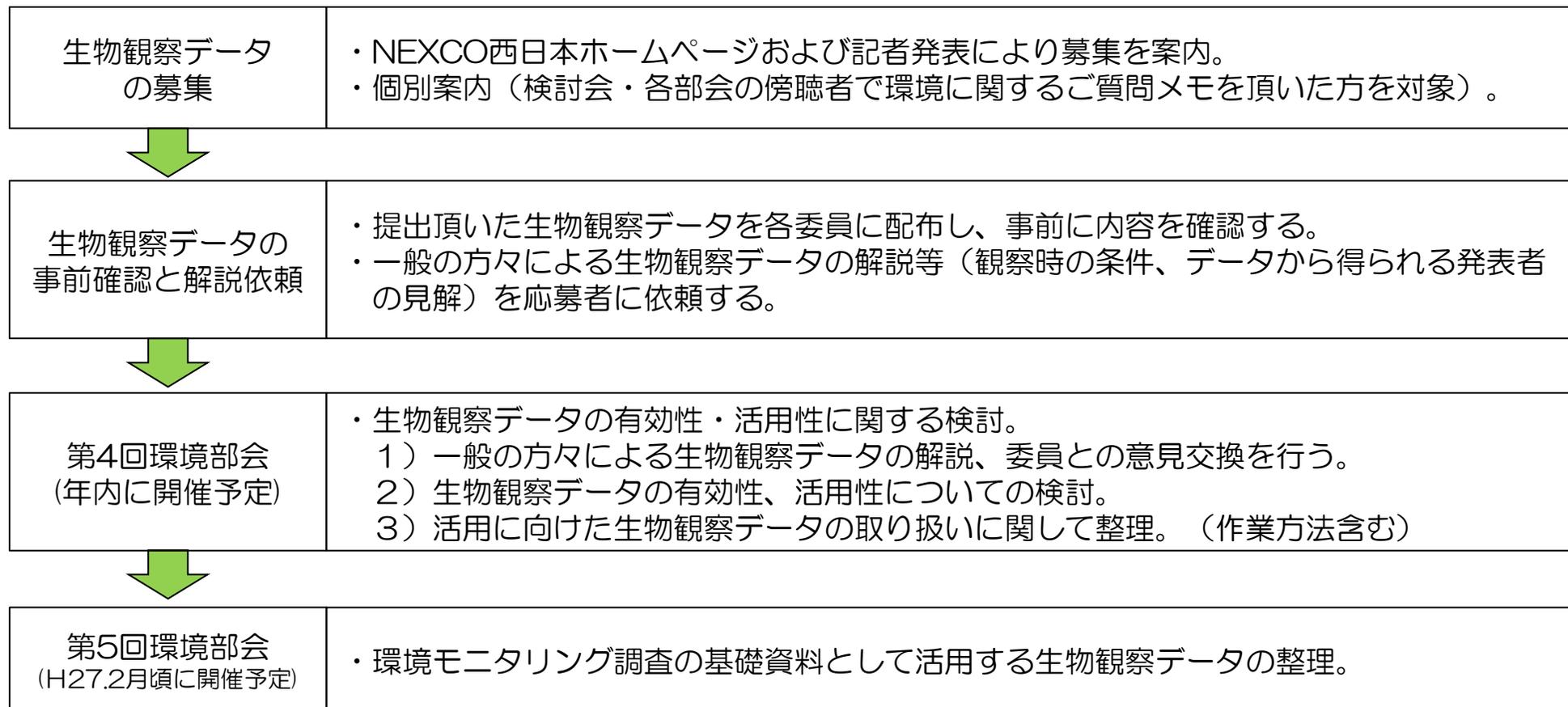
#### <活用方法>

工事前の生物生息・生育環境の現状を整理するための基礎資料に活用。

## ■2-2 吉野川河口域の生物観察データの有効活用に向けた検討の進め方



吉野川河口域の生物観察データを募集し、環境部会において、環境モニタリング調査の基礎資料としての有効性・活用性について検討する。



## ■2-3 募集要領(案)



以下に募集要領(案)を示す。

名 称	吉野川河口域の生物観察データの募集について
目 的	<p>一般の方々が観察した吉野川河口域の生物のデータを募集し、工事前の生物生息・生育環境の現状を整理するための基礎資料に活用することを目的とする。</p> <p>環境モニタリング調査を進めるにあたって、工事前の生物生息・生育環境の現状を整理した基礎資料が必要となる。その情報収集については、先行事例や事前調査により得ることを予定しているが、一般の方々からも生物データをご提供いただき、それを活用することでより幅広い検討を行う。</p>
広報の方法	<p>○NEXCO西日本ホームページおよび記者発表</p> <p>○検討会・部会で観測データ提供に関するご意見を提出された方々への個別案内</p>
募集要領	<p>○募集内容</p> <p>【観察データ】 1) 吉野川河口域の生物観察データ(鳥類、底生生物等) 【自由様式】</p> <p>【補足資料】 1) 生物観察データに関する基本情報(種類・観察条件等) 【記入様式】 2) 吉野川河口域の生物観察データとデータに関する解説・見解等 【自由様式】</p> <p>※事務局に提出頂いた資料は、コピーのうえ全委員に配布します。 (事務局で内容の加工は行いません)</p> <p>○送付方法 電子メール、郵送、FAX</p> <p>○募集の期間 平成26年9月中旬頃より概ね1ヶ月程度を予定</p> <p>○その他 生物観察データを提出頂いた方に、環境部会の場において、データの内容についての解説をお願いすることを予定しています。</p>